



子供のよさを捉え、生かすために

約1か月間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中には、2020 東京オリンピックが開催され、多くの方がテレビに釘付けとなったことでしょう。日本人選手の活躍や故郷ゆかりの選手の活躍もあり、コロナ禍中ではありましたが盛り上がったことと思います。今回のオリンピックでは、10代の選手がメダルを多く獲得したことも、今後の日本の未来を明るく照らしました。柔道や卓球、体操、野球といった競技においては、期待通りの活躍を見せてくれました。また、これまで入賞が難しいと思われていた競技でも、日本の活躍が目立ったオリンピックでした。

特に女子バスケットボールチームは参加国中一番平均身長が低く、勝つことすら難しいという評判でした。ところがオリンピックでは、ゴールから離れたシュート（3ポイントシュート）の技術や、スピードを生かした100近くの戦術をいかに発揮し、強豪国を次々と打ち負かしました。このチームを導いたのは、ヘッドコーチのトム・ホーバスさんです。トム・ホーバスさんは、日本女子バスケットボールチームメンバーの瞬間的なスピード、持久力、技術、そして練習に取り組む真面目さやチームワークを、他国のチームにはない強みとして捉え、メンバーの力を引き出し、メンバーに自信をもたせることを大切にされたそうです。トム・ホーバスさんの姿勢は日々子供と向き合う私たちに、大きな示唆を与えてくださったと感じました。

子供を育む方向性として、弱い部分や苦手な部分を根本的に直そう、強くしていこうという面は大切です。しかしながら、その面に重点を置くとなかなか成果が出ず、子供自身が意欲や自信を失いかねません。子供の持つ強みを生かし、弱みをカバーする方向に重点を置いた方が、前向きに取り組む子供の姿勢を強くし、子供自身に自信をもたせることにつながるのではないのでしょうか。

子供は一人一人に個性があり、かけがえのないよさをもっています。そのよさを捉え、大切に、子供が将来に渡って自分を磨いていけるよう指導に当たっていきたいと考えています。2学期におかれましても、保護者、地域の皆様には、ご協力の程よろしく申し上げます。

先日のアルミ缶回収にご協力いただきありがとうございました！

地域の皆様のご協力により、たくさんのアルミ缶が集まりました。

木村商店さんのご厚意により、各家庭から出された袋のまま、回収していただきました。



美しく、整然と置かれたアルミ缶です。地域の皆様の丁寧な作業に、感激いたしました。ありがとうございました。



QR コード